

優秀賞

言語や文化に興味を持ち、 自ら学ぶ力を育む英語科学習活動の創造

はしくちひろかず
福岡教育大学附属福岡中学校 橋口公一

1 研究主題設定の理由

あるデータによれば、言語や文化への興味・関心の高いものほど、英語のコミュニケーション能力も高いという。すなわち、今後の英語科学習においては、コミュニケーション能力の育成と並行して、我が国の文化と伝統に対する理解を深め、諸外国の文化を尊重する態度を育成していくことにより、基盤となる国際理解の基礎を培うことが必要であると考ええる。

言語や文化への興味・関心を高める授業は、具体的な方法として確立されているとは言い難い。また、生徒からもコミュニケーション中心の活動を望む声が多く聞かれ、言語や文化に焦点をあてた実践は少ないというのが現状である。そこで、数年前から身近な新聞やVTRをもとに教材化を図り、生徒が主体的に活動できるコース別探究活動を取り入れ、言語や文化への興味・関心を高める授業の創造をめざして実践に取り組んでいる。

2 研究の概要

(1) 研究の目標

言語や文化に興味を持ち、自ら学ぶ力を育む英語科学習指導法のあり方を究明する。

(2) 研究の内容

生徒の興味・関心にもとづくコース別学習を取り入れた授業設計のあり方

生徒がとびつく学習活動・教材の開発
探究活動のための手引の作成

学習記録をもとにした評価のあり方

3 研究の実際

(1) 単元の概要

SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 4 A Blend of Culturesでは、日本語に現れた異文化の影響や、日本文化が異文化に与えた影響といった文化の混合について取り上げている。教科書の主な内容は次のとおりである。

- § 1 ポルトガル語から日本語になったパン、カルタの例
- § 2 外国から入って来た語（食べ物）カボチャ、ジャガイモの例
- § 3 ウィリアム・アダムズ（三浦按針）の果たした役割について
- § 4 オランダとの交易、浮世絵の影響を受けたゴッホの作品の例
- § 5 中国・朝鮮との交流について

(2) 授業設計

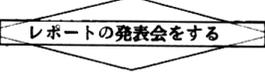
以上のような内容を踏まえて、単元名を「身近にあるものやことばのルーツを探ろう!」とし、授業設計（資料1）を行った。

(3) 生徒がとびつく学習活動・教材の開発

単元の導入、各時間の活動、単元末のコース別探究活動、レポートの発表、それぞれの段階に分けて、学習活動・教材の内容を中心に見てみることにする。

- 単元の導入の学習活動と教材
- ア カタカナしりとりゲーム

資料1 授業設計・評価計画(10時間)

時	学習活動・内容	手だて	評価の規準					
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習傾向性の把握 ・語源に関する興味・関心の把握 	<p>関：関心・意欲・態度 表：表現の能力 理：理解の能力 言：言語や文化についての知識・理解</p>					
1	<p>身近にあるものやことばのルーツを探ろう!</p> <p>カタカナ語の特徴や働きと単元の学習の進め方について知る</p> <p>・身近なカタカナ語について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○カタカナ語のしりとりを行わせ、カタカナの使い分けについて確認する ○新聞記事を使って福島のビル名の意味当てクイズを行わせる 	<p>関：語源について興味・関心をもっている <プリント分析></p>					
1	<p>受動態の用法に慣れる</p> <p>・be動詞+過去分詞 ・be動詞+過去分詞+by～ ・疑問文、否定文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○有名な作品や言語などの例をあげ、受動態の用法についての理解を助ける 	<p>表：絵について受動態を用いて書くことができる <プリント分析></p>					
1	<p>ポルトガル語に由来する語についての内容を理解する</p> <p>・パンやカルタの語源</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○厚生省がカタカナ語を制限するようになったことを紹介する新聞記事やVTR『徳木のアメリカ放浪記』を提示し関心を高める 	<p>理：さまざまな外来語の由来に関する内容を聞き取ることができる <7ナリヂェック、題フェック></p>					
1	<p>ポルトガル人やオランダ人によってもたらされたものに関する内容を理解する</p> <p>・ジャガイモやカボチャの語源</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○"go Dutch"という表現を紹介し、当時のオランダに対する意識が英語の中に生きている事実を理解させる 	<p>理：本文の要点を口頭で説明することができる <発言チェック></p>					
1	<p>英語をもたらした三浦按針について理解する</p> <p>・三浦按針の功績 ・thanks to～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開国当時の「片言英語」の例を紹介することによって、英語の歴史に触れさせる 	<p>表：絵をもとに文型を正しく用いて情報交換することができる <題フェック、プリント解></p>					
1	<p>日本の文化が海外に与えた影響について理解する</p> <p>・日本から外国への混合 ・ask+人+to不定詞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の浮世絵の影響を強く受けた作品の絵を実際に紹介してその特徴に気づかせる 	<p>関：学習した文型を用いて自分のことについて積極的に表現しようとする <様相チェック></p>					
1	<p>中国・朝鮮と日本の文化との混合について理解する</p> <p>・外国から日本への混合 ・間接疑問文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○朝鮮と博多の文化の混合を象徴する地名等を紹介し、意欲を喚起する ○友だち相互のコミュニケーション活動を取り入れ、間接疑問文の語順に慣れさせる 	<p>言：日本の異文化交流史についての知識をもっている <プリント分析> 関：外来語の語源や文化の混合のすばらしさに気づく <プリント分析></p>					
2	<p>身近にあるものやことばのルーツを探る</p> <table border="1" data-bbox="240 1352 480 1584"> <tr> <td>カタカナ語は何語か</td> <td>英語の歴史</td> <td>看板の語は何語か</td> <td>英語になった日本語</td> <td>朝博多にある文化の中国の混合</td> </tr> </table>	カタカナ語は何語か	英語の歴史	看板の語は何語か	英語になった日本語	朝博多にある文化の中国の混合	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ決定がスムーズにいない生徒には学習記録をヒントにするようにアドバイスする ○テーマに関連した文献を紹介しておき、活動の参考にさせる 	<p>関：自分のテーマに沿った情報を収集し、根拠強くまとめようとしている <様相チェック></p>
カタカナ語は何語か	英語の歴史	看板の語は何語か	英語になった日本語	朝博多にある文化の中国の混合				
1		<ul style="list-style-type: none"> ○各コースから代表的なものを事前に選んで印刷しておき、配布する 	<p>関：語源や文化の混合について、自分なりの考察を加え表現しようとしている <レポート分析></p>					

まず、日常用いているカタカナが漢字の代わりに用いられていたり、いわゆる外来語に用いられていたりすることに気づかせるために、ペアを作り、日常カタカナで用いている語を使ってしりとりゲームを5分間行わせた。そして、5分間で最も多くできたペアのものを例に取り上げ板書した。実際に出てきた語を挙げてみると、次のとおりである。

カタカナ ナイフ フック クッキー
 インコ コート トナカイ イス スリ
 リス スイカ カモメ メダカ カタ
 ツムリ リマ マラカス スタンバイ
 イチゴ ゴリラ ラッパ バイナップル
 ルビー インチ チーズ ズッコケ
 ケンカ カス スマイル ルール ルー
 ズ

この後、実際に出てきた語を分類する活動を行わせることによって、カタカナの果たす役割について再確認することができた。実に単純な活動であるが、英単語しりとりと同様、生徒がとびつく活動の一つのようだ。

イ 新聞記事を用いたクイズ

次に、今度はカタカナがどのような機能を果たしているのかということに目を向けさせるために、身近でよく耳にするビルの名称とその意味を結び付けるクイズを行わせた。資料2は、新聞の記事からとったもので、だれもが耳にしたことがあるものの、その意味は知らないというものである。それぞれの語源についても解説が加えられており、生徒は大変興味をもって取り組んだ。また、単元末の活動への動機づけにもつながったようである。

以上のような活動の後に、さらに、単元末のコース別の探究活動についてもふれながら、単元全体の大まかな流れについて確認した。

各時間の活動と教材

内容理解を中心とした各時間の活動は次のような構成で行った。

資料2 あなたの天神度チェック

(西日本新聞 1996.1.30 朝刊)

さて、建物の名前が幾つ分かる？

【クイズ】 群の名前と 群の意味をつないでください。ただし 群には建物以外の名前を2つ入れています。

- [1] VTR 『俵太のアメリカ放浪記』を視聴、和製英語の用法・意味・語源の確認
- [2] 新出単語・文法事項のチェック
- [3] LLでの各自のワーク・読みの練習
- [4] 内容に関するQ&A、及び解説
- [5] 学習記録：今日の学習で疑問に思ったこと、印象に残ったことの記述

ア 生徒の興味・関心を高めるVTRの提示

かつてテレビ朝日で放映された番組「巨泉の使えない英語」の中の『俵太のアメリカ放浪記』という5分間程の内容を提示した。これは、日本人がアメリカに渡り、いわゆる和製英語が実際に通じるかどうか、また、どんな語に聞こえるのかを試す内容である。実際に取り上げたのは、バリカン、ホッチキス、オートバイ、ジョッキ、スタジアム、ジャンパー等である。これらの語は、『カタカナ語を英語にする辞典』(大修館書店)等で実際に生徒に調べさせると、どんな語源であるか

がさらにはっきりし、大変興味深い。例えば、パリカンは、それを最初に製作した、フランスの会社名に由来すると紹介されている。生徒も、意外なものの語源がわかることや、正しい英語の表現がわかることで、このビデオは毎時間大変楽しく視聴していた。

イ 身近な新聞記事

また、日頃からアンテナを張り巡らせておいてスクラップしてみると、新聞の中にもカタカナ語についての興味深い記事がたくさんある。資料3は、厚生省がカタカナをできるだけ使わない方向で検討していることを伝える新聞記事である。授業のスタートで今日のトピックとして取り上げたことで、授業との関連を図りやすかった。

資料3 カタカナ語とその日本語表記

(読売新聞 1997.9.11 朝刊)

厚生省が作った、使用を極力避ける 主なカタカナ語とその日本語表記	
ニーズ	⇒ 要望、要請、国民の求め
コンセプト	⇒ 概念、基本的考え方
プロジェクトチーム ワーキンググループ	⇒ 委員会、研究会、検討会
フォローアップ	⇒ 再点検、再検討
スキーム	⇒ 計画、体制、仕組み
ビジョン	⇒ 展望、構想
フリーアクセス	⇒ 患者による医療機関の自由選択
メディカルチェック	⇒ 医学的検査
ホスピタルフィー	⇒ 病院に対する報酬
ドナー	⇒ 臓器提供者
レシピエント	⇒ 移植希望者
ケアプラン	⇒ 介護サービス計画
ケアマネジメント	⇒ 介護支援サービス
ケアマネージャー	⇒ 介護支援専門員

ウ カタカナ語と語源に関する文献

これまで実践のたびに、カタカナ語や語源に関する書籍を購入してきた。これらは、生徒が各自で探究活動を行う際に大いに役に立っている。教科書の内容と関連して、例えば「明治時代の英語」のような話題を提供するのも大変効果的である(資料4)。

単元末のコース別探究活動

これまでの各時間の活動の自己評価として

累積的に記述してきた「学習記録」(資料5)

資料4 参考文献リスト

外国からきた新語辞典	1985
集英社 斎藤栄三郎編	
カタカナ語のミス	1988
ジャパントイムズ ジェイムズ・ウェブ	
じゃまになるカタカナ英語	1990
洋販出版 カーク・マンデン、三浦昭	
英語になった日本語	1990
ジャパントイムズ エバンス・M・年恵	
外来語辞典	1990
日東書院 新外来語研究会	
カタカナ語を英語にする辞典	1991
大修館書店 丸山孝男 他	
英語の常識小百科	1992
大修館書店 伊藤元道 他	
カタカナ英語ハンドブック	1993
三修社	
英語と日本語のルーツ	1993
サイマル出版 小林正典	
巨泉の使えない英語	1993
ワニブックス 大橋巨泉・朝日放送編	
カタカナ英語の話	1994
南雲堂 加島祥造	
スポーツからきた英語表現辞典	1997
大修館書店 R・A・パルマティア	

をもとにさらに調べてみたい内容、興味を持った内容等について明らかにさせ、自分の探究するコースを決定させた。その際、選択の方向性が明らかになっていない生徒には、コースの紹介とまとめる上での留意点を含めて「コース別探究活動のための手引」(資料6)として提示して、方向づけがしやすいようにしておいた。以上のようにして、コース選択の理由を明確にさせておくことが、自ら学ぶ力を育てる上で重要である。

最終的に、生徒40名が選んだコース別の数は、次のようになった。

- ・カタカナ語が何語なのか調べてみよう
.....21名
- ・英語の歴史について調べてみよう
..... 4名
- ・看板の語が何語なのか調べてみよう
..... 4名
- ・英語になった日本語について調べてみ
よう..... 8名
- ・博多にある中国や朝鮮の文化との混合
について調べてみよう3名

最も多い「カタカナ語が何語なのか調べてみよう」の中でも、自分の興味のある野球用語、音楽用語、身の周りの生活用品等アプローチの仕方は様々である。つまり、各自の興味・関心のあるものから学習をスタートすることができる機会を提供することにつながっていると言える。また、数は少ないが、「看板の語が何語なのか」に挑戦した生徒の中には、新聞の宣伝広告や近所のマンション名のデータを多数集め、それらを日本語、英語その他の外国語、幾つかの国のことばの組み合わせ（混種語）のようにタイプ分けしてグラフに表し、大変興味深いまとめを行った。いずれも日常の授業の中で、探究活動を見通しておき、生徒がとびつく学習活動や教材を準備したことが、学習の意欲を持続させていくことにつながったものと思われる。

ことばやものの歴史について学習していく中でわかってきたこと、新しく発見したことなどを記録しておきましょう。

§ 1 パンやカルタがポルトガル語だということがわかった。他にどんなものがあるんだろう？

§ 2 カボチャやジャガイモのもとが地名だということをはじめて知った。本当のもとからあった原産地はどこか知りたい。

§ 3 ウィリアム・アダムズという人が日本に初めて英語を持ち込んだということをはじめて知った。三浦接針という名前の由来がおもしろい。

§ 4 とうきとかも西洋に持っていったなんて知らなかった。ゴッホが浮世絵をまねしていたのがおもしろい。van , てどうして小文字なんだろう（多分身分とかのだと思う）。

§ 5 外国っていうと、どうしても私達は欧米のことを想像してしまう。でも日本と一番深くかかわってきたのは、近くの中国とか朝鮮なのかもしれない。外国に支えられてきた日本の文化を実感した。

資料6 コース別探究活動のための手引

「身近にあるものやことばのルーツを探ろう」コース別の探究活動を進めるにあたって

1 各コースの紹介

ア カタカナ語が何語なのか調べてみよう。

「カルタ、パン、カボチャ、ジャガイモ等は教科書でも学習しました。いずれも英語ではありません。他にも何語なのかわからないカタカナ語がありそうです。そんな語句を調べてみましょう。俵太のようにイアン先生に和製英語でチャレンジするのもおもしろいかもしれませんね。

イ 英語の歴史について調べてみよう。

どんな風にして英語はできあがったのでしょうか。また、最初に日本に英語を伝えた人はだれなのでしょうか。三浦接針だけに限らず、英語の歴史についていろいろと調べてみ

るとよいでしょう。

ウ 看板の語が何語なのか調べてみよう。

町を歩いているとどんな意味なのかよくわからないものがありますね。この前のクイズに限らず、スカラエスパシオ、エルガーラ、アクロス、近くのマンションの名前まで。「あれどういう意味なのかな？」と調べてみることで新しい発見ができるかもしれませんね。

エ 英語になった日本語について調べてみよう。

ゴッホが浮世絵の影響を受けた内容は学習したとおりです。日本語にもkimonoのように英語になっているものはいくつもあります。そんな語の例を調べてみましょう。

オ 博多にある中国や朝鮮の文化との混合について調べてみよう。

日本には、長崎に象徴されるように、古くから中国や朝鮮との文化の混合が多く見られます。我々の住む博多にもそれらしいものがありますね。「唐人町」「警固」「防塁」等、他にも何か調べれば発見できそうです。この機会に博多を再発見してみましょう。

2 レポート記入上の注意

あくまで参考文献の丸写しということにならないように工夫しましょう。

調査したデータから考察すると説得力がアップします。

LL教室の先輩の優秀作品を参考にしてみよう。

3年()組	氏名()
1 テーマ 「	」
2 テーマ設定の理由	
3 内容と考察	
(1)	(2)
4 感想	

逆に、英語の歴史を調べたり、身近なところにある文化の混合について調べたりするテーマについては、歴史的なものへの興味が低いのか、内容的にも不十分だったようである。そうしたコースにも目を向けさせるような効果的な教材の開発と資料収集が必要である。

レポートの発表

各自の探究の成果が交流できるように、各コースの代表的なレポートを事前に印刷しておき、発表の際に参考にさせた。全員の発表の時間は確保が難しいため、各自のレポートについては、冊子にしておき、時間があるときにいつでも閲覧できるようにしておいた。また、優秀な作品については、他のクラスの作品も含めてLL教室に掲示することによって、次年度以降の活動の参考にさせた。資料7は、A女が作成したレポートである。

4 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

「話すこと」を中心としたコミュニケーション活動にかなりの時間が割かれている現状においては、本実践のように言語や文化の魅力に焦点をあてた、コミュニケーションにつながる活動に十分時間をかけて取り組むことが忘れられがちである。しかし、いずれの教科書でも取り上げられている言語や文化の視点に立った題材について、どのように指導していくべきか、再度見直してみる必要があるのではないだろうか。そうした耕しがあってこそ、真のことばによるコミュニケーションの魅力に気づかせることが可能になると思うのである。資料8は、コミュニケーション活動に対して日常はどちらかというところと積極的に取り組むほうではないB女の感想である。

「あんまり興味なかったけれど、いろいろ

3年2組 52ばんやなぎ 柳奈央

変化する外来語 — カタカナ語、何語の？ —

まちがいただけの外来語

Q. 外来語ってなに？
 外来語というのは、外国から日本に伝えられ、日本語になら、言葉。(しかし外国から伝えられている間に、意味をとりかえたり、長い間に日本語化してきて、その小るごさで忘れられる語が沢山あります。
 『金平権』がゆげ『聖草』はの『うり』にあて字はあ、ても、たいの『あ』、カタカナで使われました。

★外国では通じない略語や読み方のちがひ略語★

- (CM) → コマーシャル・メッセージ
- (UFO) → ユーフォー
- (NATO) → ナトー

変化する外来語
 *男女差別はなくなったために...
 ・スチーフ・テキスト → フラット・テキスト
 ・マンホール → パーソナル・ホール
 ・メンテナス → ハット
 ・ウエイター → ウェイトロン
 ・ウエイリス → ウェイトパーソン
 ・チアスマン(議長・委員長) → チアパーソン

これから変わっていくことば
 ・外国では、男女平等の運動がさかん、そのため、このように、とよんで変化していきます。

外来語をさらべてみて...
 カタカナで書くからといって、そのまま外国でも通じるわけではない。そのまわがわから、国際化、情報化といわれるこれからは、ますます新しい言葉が増え、古い言葉も減っていきます。正しい日本語を大事にする一方、世界の文化における知識を身に付けていくべきだと思います。



ロシア
 コンビナート
 インド
 ヨカ

中国
 拉麺 (ラーメン)
 炒飯 (チャーハン)
 麻雀 (マージャン)
 餃子 (ぎょうざ)
 体面、面目 (たいめん、めいめん)
 「面子もたてろ。」

アメリカ
 ラグビー (ラグビーフットボール)
 パラシヨート
 ダイゼンク
 オレニシ
 カニニク
 ハズキョット
 ホール
 ボーイフレンド
 ガールフレンド

MADE IN JAPAN
 日本 ※日本でつくられた外来語
 ゴールドウエーク
 オイルショック
 ハイセンス
 ソロホーマー
 タイター
 ネットパイ
 ホームドラマ
 デジャット
 チョコレートパケ
 コインロッカー
 ※外人にこの言葉をつか、ても、意味は通じません。

- ヨーロッパ ※主に食べ物が多い
 1. フランス
 テッパン
 ババロア
 レストラン
 ドイツ
 カーゼ
 チーズ
 3. イタリア
 ソフラー
 オペラ
 4. オランダ
 パンク
 コーヒー
 ポンプ

資料8 学習後のB女の感想

今後さらに調べてみたいことはなんですか。

4-2でじゃがいもはその前はじゃがたらいもとかよばれてたことなどは全然知らなかったし、他にもこういう風な言葉があるなら知りたい。あまり興味なかったけれど、いろいろ読んでみてすこし興味をもった。日本の文化のことも知りたい。

読んでみて少し興味をもった。日本文化のこともしりたい。」と記述しているところからも、今回のコース別探究活動の取り組みがきっかけとなって、今後の学習活動への意欲づけにつながっていることがうかがわれる。

以上から、今回の研究の成果として次の4点が挙げられる。

身近な題材をもとに教材の開発を行ったことによって、生徒の意欲を喚起し、コース別探究活動にスムーズに入ることができた。日常の授業での疑問点や興味を持った内容を「学習記録」として記述させ、コース選択の方向づけをさせたことは、各自の選択の理由を明確にさせるのに有効であった。教科書との関連を図った選択コースの設定によって、さらに追究してみたいという生徒の欲求にこたえることができた。探究の成果を交流させる場の設定により、これまでのレポートのみの発表よりも、活動後の感想に内容的な深まりが感じられた。

(2) 今後の課題

異文化理解に関する題材の特徴、学年の発達段階をとらえ、それらのトピックにふさわしい教材と学習活動の開発を継続していく必要がある。

コースの設定の妥当性、特に歴史的なものについての再吟味が必要である。また、生徒の自主的なテーマ設定も検討してみるこ

とで、よりいっそうの意欲の向上が期待できる。

表現の方法をレポートのみに限定することなく、各自の発想が生かされ、自由な表現が可能になるようにさらに手引等の充実を図っていく必要がある。